



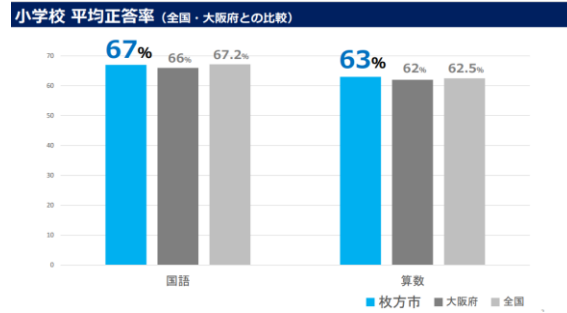
すすんで学ぶ子
心豊かな子
たくましい子

中宮

令和5年8月25日
第655号
枚方市立中宮小学校
校長 池原 義人

中宮の子たちは、子どもらしくてよい子ばかりです

令和5年度全国学力学習状況調査、枚方市は全国平均とほぼ同数値、大阪府も僅差に



令和5年度全国学力学習状況調査の結果が公表されましたが、各都道府県の差は年々縮まっています。これまで全国平均値と大きな開きがあった大阪府も、順位は別として数値的な差は、僅かとなりました。枚方市としては、国語で0.2ポイント下回ったものの算数では上回ることができました。大阪府としても、枚方市としても在住の本年度6年生は、全国の平均的な学力が身につけていると言えると思います。

中宮小はどうだったか、大阪府との差を前年度と比較してみると国語で5ポイント、算数で4ポイント下降しました。残念なことではありますが、出てしまった結果を変えることはできません。ここからやるべきことは、結果から改善点を見つけ出し、改善に向けた実践あるのみです。

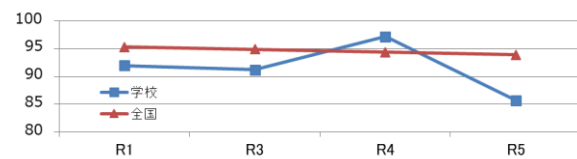
ただその前に、教師と保護者が押さえておかなければならないことは、大阪や枚方の全体的な数値よりもかなり下にあるということです。同学年の結果なので3年後の受験を考えたとき、学校間という集団で見ると、一緒に受験するのは本校の児童よりも成績の良い子が多いという現実です。

もっと言うならば、本校の児童より学力が高くてそれはその子達にとってごく普通のことであり、それより上を見ながら学習する日々が日常だと言うことです。

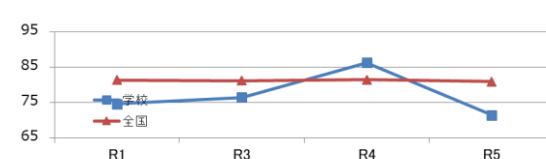
以下の表を見てください。まずもっての改善点は、ここにあると思います。

【全国学力学習状況調査・質問紙調査結果-抜粋】

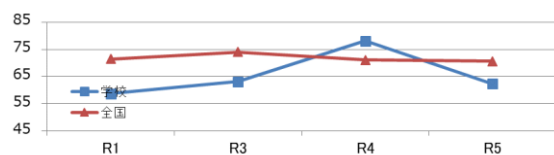
《朝食を毎日食べている》



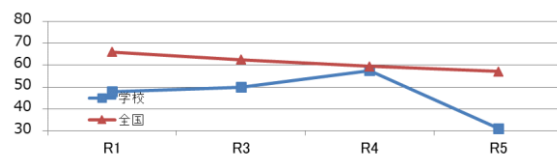
《毎日、同じくらいの時刻に寝ている》



《家で自分で計画を立てて勉強していますか》



《学校の授業以外に、一日どれくらいの時間勉強をしますか(1時間以上)》



実はこの4項目、大幅な改善が見られ好成績につながった理由だと、前年度同時期の校長通信でお伝えした4項目なのです。今回は残念ながら悪い結果の理由としてですが、この項目と学力の因果関係が確かにあるという証明になりました。

【校長通信 631号(令和4年3月1日発行)抜粋】

「エビングハウスの忘却曲線」をご存じでしょうか、人間は学習しても復習しないと忘れていくものであり、復習をしないままでは一か月後には8割忘れていくそうです。ただ、このことを調べると諸説あるので、ここでは「復習をしないと忘れてしまう」という確かなことだけでお話をさせていただきます。

～中略～

家庭学習をしないということは、月日が経つほどに学校で学習したことを忘れてしまうということです。3学期が終わるころには、1学期2学期に学習していたことをたくさん忘れてしまい、春休みが終わるころには、前年度の学習をすっかり忘れていくという児童が出てきます。また、学年が上がるにつれて、忘れ去っていくことも積み重なっていくわけですから、**高学年になればなるほど、勉強がさっぱり分からなくなっていくのは、ごくごく自然なことと言えるでしょう。**

～中略～

人は忘れていく動物のようです。**学校の授業で身につけた知識は、そのときには十分であったとしても、何もしなければ忘れていきます。家庭で、どれだけどのような内容と頻度で学習しているかが、身に付いた学力の差かも知れません。せっかく学習したことを無駄にしないためにも、新年度への準備に取り組むためにも、まずは「準備の準備」をお願いします。**

【校長通信 632号(令和4年3月24日発行)抜粋】

全国学力テストのために勉強するものではありませんが、**高校受験では多くの人が大阪府内同学年の人たちと一緒に受験することになります。大学受験なら、近畿圏だけでなく全国に広がるでしょう。入試は1点2点で合否が変わってくるのがよくあります。高校・大学によっては、合否を決めるとき、点数1点の中に何十人も何百人もいることがあります。そう考えると、大阪府内や全国との差は、目を伏せて済ませるわけにはいかないと思っています。**

保護者と言いつ争いになりながら退学を止めようとしていたとき、生徒の父親に「高校だけが人生じゃないやろ!」と怒鳴られたことがあります。その通りです。でも、それなら我が子が希望通りの進路に進めなかったときに、行きたくもない高校が嫌になったときに、保護者として子ども心に影を落とさないようにすることも、保護者の責任だと思います。それは何もしなくなった我が子を養ってあげることでなく、止む無く嫌々働き始める我が子に「お前が悪いやろ」と叱ることで果たせない責任だと思います。

髪の毛を染色する児童が激増し、ピアスをしてくる子が後を絶たないのが、今の中宮小です。しかし、校長の目から見て学校が荒れているようには見えません。ただ、これも以前の校長通信でお伝えしたことです。集団の雰囲気ほど怖いものはないと思っています。そして、それに勝てる教師や学校は、少ないと思います。学校ができることとして、安心して学習のできる環境を守り、しっかりと授業を実践していくことに力を注いでいます。

保護者のご協力、今学期もよろしくお願いいたします。